

学校業務改善に係る推進委員会
(1)名称 淡路市学校業務改善推進委員会
(2)協議・検討内容 ア 各学校に学校業務改善の普及を図る実践について イ 学校表簿の様式の共通化、電子化について ウ 管理職、教職員の意識改革について
(3)成果と課題 ア 平成22年度の学校業務改善の取組について推進校と実践校が発表を行い、業務改善の必要性や意義、また実施上の課題について認識を深めることができた。 イ 市内小中学校の学校業務改善に係る課題を明確にし、改善の方策事項の確認を行うことができた。
学校業務改善に係る取組結果、成果と課題
(1) H22推進校、実践校の成果の普及について ア 学校業務改善推進会議で推進校及び実践校の取組を報告し、学校業務改善の成果や課題について認識を深めることができた。 イ 推進校及び実践校が作成した学校ルールブックを各小中学校に配布した。
(2) 文書様式、学校ルールブック等の市内の共通化、共有化について ア 各小中学校で通知簿の電子化を図った。 イ 学校表簿について様式の統一及び電子化の推進(平成24年度実施予定) (ア) フォルダの市内統一 (イ) 学校日誌の電子化 (ウ) 出席簿の統一と電子化
(3) ノー残業デー、ノー部活デー、ノー会議デーの実施率の向上について ノー残業デー、ノー部活デー、ノー会議デーの学校全体での取組を推進 ア ノー残業デーが徹底されている学校 : 33%(H22年度) 50%(H23年度) イ ノー会議デーが徹底されている学校 : 58%(H22年度) 88%(H23年度) ウ 平日に毎週ノー部活デーを実施している学校 : 60%(H22年度) 60%(H23年度) ノー残業デーやノー会議デーについて、実施率は向上したが、ノー残業デー・ノー部活デーのさらなる実施率の向上に課題が残る。
(4) 市独自の取組について ア 推進校及び実践校が作成した学校ルールブックをもとに、各小中学校で学校ルールブックを作成した。 イ 年度当初に提出する書類の一覧表を作成し、事務の効率化を図った。 ウ 県大会予選を兼ねない中体連の大会を1つでも少なくするように進めた。 エ 校務用のPCを市内各小中学校の教職員に1人1台割り当て、ネットワーク環境を整備した。 学校ルールブックの作成により、サービスや校務についての共通理解、学校備品等の整理整頓など学校業務改善に向けての教職員の意識の向上が図られた。また、PC環境が整備され、事務処理の軽減が推進できた。しかし、中学校での部活動が超過勤務の要因の1つなので、今後も中体連の大会を1つでも少なくするよう進めていく。
次年度の学校業務改善に係る取組計画
(1) 学校ルールブックに沿った学校業務改善を推進し、その成果や課題について検討するとともに、学校ルールブックの改善を図る。 (2) 学校表簿の様式の統一化や電子化の推進。 (3) ノー残業デー、ノー部活デー、ノー会議デーの推進。